

今回は、「仕事の誤解」という小冊子からです。

× 黙っていても教えてもらえると思うのは誤解だ！

要領のよい人と悪い人がいる。「要領のよい人が悪人」で、「要領の悪い人が善人」のように思われているがそれは間違いだ。なぜなら、**要領は人の性格ではなく、仕事を教わる前向きな姿勢から湧き出てくるものだからである。**

※ 自ら働きかけよ

「私の上司や先輩や同僚は、仕事を教えてくれない」と不満を言う人がいるが、本当にそうだろうか？「仕事は盗め！」とはよく言われる言葉だ。教わりながら盗む。盗みながら教わる。この繰り返しの大切さが分かることが仕事の要領だ。そして、教わる人をたくさんもつ。人それぞれ仕事のやり方を観察し、自分の個性に合ったものに組み立てていく。要領の良い人は、観察力・自分のものにする力が強い。

※ 食い下がって教えてもらおう。

あえて言い切ろう。だれでも「人は教えたがり屋」だ。「教えてください！」と頭を下げれば親切に教えてくれる。もし教えてくれないなら、何か別の原因であなたは嫌われている。そして、分からないことは納得するまで聞く。食い下がってしつこく聞くほどに、相手も親身になり、時にはこっそりと他のノウハウも教えてくれることもある。ある会社の役員は言っていた。「**将来伸びる人は、しつこいほど聞いてくる。分かりもしないのに分かりましたという人は、残念ながらあまり成長しない**」

※ お客様に教えてもらう

社内だけでなく、社外にも教えてもらえる人をつくることも有効だ。営業マンなら「お客様から教えてもらう」ことは特に有効だ。お客様に無理難題を言われたとする。そのときに聞き方を工夫して、同業のお客様から解決策を考えてもらうのだ。すると、自社内では考えつかないアドバイスがあったりする。これも要領だ。

1) 要領は性格でなく何と言ってますか？

()

2) 要領のよい人の持つ力は何ですか？

() () ()

3) ある会社の役員は何と言ってますか？

()

4) あなたは要領のよい人ですか？悪い人ですか？

要領がよい

要領が悪い